科目名: 臨地実習Ⅱ＜福祉施設＞	必修	1単位(45時間)
(Clinical Practice Ⅱ)		

履修年次/時期: 3年次 後期　　授業形態: 講義,実習

主担当教員: 戸田 真司

主担当教員詳細: [実務経験 歯科医師25年(うち地方公務員として保健福祉分野における業務に10年間従 事)]:実務経験から保健医療福祉の一体化した取組みとして今日の地域保健福祉施設の実際について理解が進むよ う授業を行う。

担当教員名: 関端 麻美, 金子 和美, 阿部 智子

学修目的	高齢者および障害児(者)の口腔機能やQOLの向上に必要な技能を習得するため、対象となる人々の特性を理解し、対応方法を学ぶ。また、保健医療福祉の一体化した取組みが求められる中で、地域保健福祉事業の実際について学び、医療従事者としてこれらの人々に適切に支援を行うための基本的な知識および多職種連携を図るための能力を身に付ける。 関連するCP: CP3,CP4,CP5,CP6　　科目No. S3C13H10		
この科目が目的としているDP	1. 医療専門職としての倫理観を有する。	(1)生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。	○
		(2)医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。	○
	2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。	(1)教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。	○
		(2)専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。	◎
		(3)社会の動向に関心をもち、学び続ける力を有する。	○
	3. 口腔の健康支援を通し、全身の健康を守る高度な専門的能力を有する。	(1)多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。	○
		(2)優しさに溢れる歯科衛生士として地域社会に貢献する能力を有する。	○
		(3)歯科衛生士としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。	○
	◎: この講義・演習・実習と最も関連があるDP ○: この講義・演習・実習と関連があるDP		
到達目標	① 履修科目にて得られた知識や技能を実習現場で展開し、適切に歯科衛生業務を担うことができる。 ② 対象者の口腔保健向上に必要な取組(口腔ケア・歯科保健指導など)を実践できる。 ③ ノーマライゼーションの意義や重要性を理解する。 ④ 対象者の人権、価値観、考え方などを尊重し、敬意をもって接することができる。 ⑤ 多様な対象者に対して主体的に働きかけを行い、理解を深め、適切なコミュニケーションを図ることができる。 ⑥ 高齢者・障害者の福祉施設及び保健所の概要を理解する。		
授業概要	地域保健医療福祉行政の進展に伴い、障害者・高齢者に対応する機会が多くなった社会で、歯科衛生士に求められる適切な対応能力を養う。		
授業計画	(実習場所) ・学内教室 ・社会福祉施設(横須賀市内および横浜市内の高齢者福祉施設、障害者福祉施設) ・保健所 横須賀市保健所、健康福祉センター、コミュニティセンター (実習方法) ・実習についてのオリエンテーション(学内) ・事前学習(学内) ・施設及び保健所関係者による講義(学内) ・施設及び保健所における実習 ・まとめ レポート提出(学内) ・プレゼン資料作成と発表(学内) ※ 感染症の拡大防止などを理由に実習内容や実習場所が変わることがあります。		
評価方法	当科目の評価は、学期末本試験50%、実習への参加度50%とする。 実習および講義において不適切とみなされる受講態度が認められる場合には減点を行う。 本試験を受験するに当たって実習参加とレポート提出を必須とする。 試験に対するフィードバックは掲示またはポータルサイトで行う。		
教科書	指定なし。 資料を適宜配布いたします。		
参考書	高齢者歯科学、障害者歯科学、歯科保健指導論、在宅口腔健康管理などの授業に用いた教科書		
オフィスアワー連絡先	戸田 真司　月～金　12:20～12:50、16:15～17:00　4号館2階研究室　toda.s@kdu.ac.jp 関端 麻美　月～金　16:15～17:00　3号館2階教員室　sekibata@kdu.ac.jp 金子 和美　月～金 16:15～17:00　3号館2階教員室　kaneko.kazumi@kdu.ac.jp 阿部 智子　月～金 16:15～17:00　3号館2階教員室　t.abe@kdu.ac.jp 各教員とも不在時はメールを頂けると円滑に対応できます。		